

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ナシヨペン ローラーパテ	
会社名	ナシヨペン工業株式会社	
住所	香川県高松市小村町 54-7	
担当部門	製造部・技術	
電話番号	TEL 087-848-2323	FAX 087-848-2700
緊急連絡先	TEL 087-848-2323	
整理番号	SDS LL-0004	作成年月日:2000(H12).08.17 改定年月日:2016(H28).05.01

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性 :		該当しない。
健康に対する有害性 :	急性毒性 経口	区分外
	経皮	区分外
	吸入(ガス)	分類対象外
	吸入(蒸気)	区分外
	吸入(粉塵、ミスト)	区分外
	皮膚刺激性/腐食性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	区分外
	呼吸器感作性 個体/液体	区分外
	気体	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	授乳に対する、または授乳を介した影響に関する追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分外
	特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	区分外
	吸引性呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性 :	水生環境有害性(急性)	区分外
	水生環境有害性(慢性)	区分外
	オゾン層への有害性	分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示またはシンボル	:該当するGHSラベル要素なし
注意喚起語	:該当するGHSラベル要素なし
危険有害性情報	:該当するGHSラベル要素なし
注意書き	:該当するGHSラベル要素なし

3. 組成、成分情報

単一、混合物の区別	:混合物（炭酸カルシウム、アクリル酸エステル共重合水性エマルジョン樹脂、界面活性剤などの混合物）
化学名または一般名	:合成樹脂エマルジョンパテ

成分名	CAS No	含有量	備考
有害成分を規定量含有せず			

4. 応急処置

目に入った場合	:清浄な水で15分以上洗眼した後、念のため眼科医の診断を受けてください。
皮膚についた場合	:付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。痛み、外観に変化がある時は、医師の診断を受けてください。
吸入した場合	:蒸気・ガスを吸入して気分が悪くなった時は、空気の新鮮な場所に移動させ、症状が持続する場合、医師の診断を受けて下さい。
飲み込んだ場合	:すぐ吐き出してから、医師の診断を受けてください。

5. 火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水が蒸発した後の乾燥物は、火を付ければ燃えにくい燃える。

消火剤	:水、化学消火器(粉末・泡・炭酸ガス等)が使用できる。
消火方法	:通常の一般火災の消火方法に準ずる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時処置

・特になし

環境に対する注意事項

河川、湖沼へ流入した場合は、必要に応じ、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管、理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。

回収、中和

ペースト状なので、へら等で空容器に回収し、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い、保管上の注意

取り扱い	:換気の良い場所で行う。 :目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。 :研磨粉等を発生させる作業の場合は、局所排気装置を設置するか、または粉塵防護マスク、粉塵防護眼鏡等を着用する。 :取り扱い後は、手・顔をよく洗い、うがいをする。
------	---

保管	:凍結、直射日光を避け、場所を定め、屋内に保管する。 保管時の温度は5℃以下及び40℃以上にならないようにする。 皮張り防止のため、使用後はビニールを敷き、よくフタをし貯蔵する。
----	---

8. 暴露防止措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: TLV-TWA 10mg/m ³ ACGIH(1999年) : 8mg/m ³ (総粉塵) 日本産業衛生学会 (2007年)
設備対策	: 状況に応じ局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	: 着用が好まれる。(研磨時、防塵マスク必要)
保護眼鏡	: 着用が好まれる。(研磨時、防塵眼鏡必要)
保護手袋	: 着用が好まれる。
保護衣	: 着用が好まれる。
衛生対策	: 取り扱い後は、手・顔をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 白色、ペースト状
臭い	: ごくわずかな刺激臭
pH	: 9～10
融点・凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(相対密度)	: 約 1.6
溶解性	: 体質顔料以外は、水で無限大に希釈可能
オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: 900℃ (炭酸カルシウム)
臭いのしきい(閾)値	: データなし
蒸発速度	: データなし
燃焼性	: この物自体は不燃性
その他	: なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 安定である。
危険有害反応性	: 知見なし
避けるべき条件	: 直射日光、5℃未満、40℃以上、(製品性能上)
混合危険物	: 知見なし
危険有害な分解生成物	: 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	: 飲み込むと有害のおそれ
	経皮	: 皮膚に接触すると炎症のおそれ。
	吸入(蒸気)	: データなし
	吸入(粉塵、ミスト)	: 吸入すると、有害のおそれ
皮膚刺激性/腐食性		: データなし
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性		: 事例は無いが、目粘膜を刺激する。
呼吸器感受性	個体/液体	: データなし
	気体	: データなし
皮膚感受性		: データなし
生殖細胞変異原性		: データなし
発がん性		: データなし
生殖毒性		: データなし
授乳に対する、または授乳を介した影響に関する追加区分		: データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)		: データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)		: データなし
吸引性呼吸器有害性		: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性		: データなし
残留性・分解性		: データなし
生態蓄積性		: データなし
土壤中の移動性		: データなし
オゾン層への有害性		: データなし
水性環境有害性(急性)		: 水生生物に有害。(GHS分類: 区分外)
水性環境有害性(慢性)		: データなし

13. 廃棄上の注意

洗浄水等の排水は、地面・河川・排水溝に直接流れ出ないように対処すること。
 廃棄物及び空容器などは、廃棄物処理法の定めるところに従う。

14. 運送上の注意

共通

運送に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送	関係法令に該当しない
海上輸送	船舶安全法に該当しない
航空輸送	航空法に該当しない。
指針番号	該当なし
国連番号	該当なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	:該当しない
毒物劇物取締法	:該当しない
化学物質管理推進法(PRTR法)	:該当しない
消防法	:該当しない

廃棄については、水質汚濁防止法、廃棄物処理法の定めに従うこと。

16. その他

参考資料

:各原料メーカーSDS

:JIS Z 7253:2012

:日本塗料工業会編(SDS用物質データベース第6版 2015.08.19 一部修正)

:GHS評価及び分類は、GHS分類ソフト-Ver1.04.07(2015.08.19)日本塗料工業会を使用。
2016(H28).06.01 改定労働安全衛生法 化学物質に対応

○この安全データシートの記載内容のうち、含有量・物理的及び化学的性質などの値は、保証値ではありません。

○危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

○注意事項は、通常の実施を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。

○外国又は都道府県市町村で特別に規定されている、制令・条例等には、適用を受ける場合があるので、各自でお調べください。